



本日 第2153回 2015年5月22日(金) No. 2039

本日のプログラム Today's Program

早朝例会

点 鐘

担当者:クラブ管理運営委員会

ロータリーソング「事仕の理想」

於良福寺

前回 第2152回 2015年5月15日(金) 記 録

○斉 唱:「日も風も星も」

出席者: 会員24名中21名出席 出席率87.50%
前々回補正出席率 5月1日分100%

会長あいさつ 古橋 裕志



2015-16年度のRIテーマは「世界へのプレゼントになろう」です。K. R"ラビ"ラビンドラン次期RI会長は私達ロータリアンの人生の価値はどれほど得たではなく、どれほど与えたかによって判断され、実際に

何かをしてあげ、おおいに社会に貢献し、ロータリーを通じて熱意と貢献で世界にプレゼントをする。

自分の存在の証をロータリーに残すことではなく、ロータリーの活動を一番に優先して、ロータリーの存在の証を世界に残す、その第一課題がポリオ撲滅です。そしてロータリー組織を形づくった基本に立ち返る必要があります、高い倫理基準、各クラブに会員の多様性をもたらす職業分類、そして多くのクラブや地区の現実を目を向けると、ロータリーのあるべき姿が映しだされていない、これらは会員増強の足を引っ張る障害にすぎないのが現実でロータリーのイメージをあらためて明確に打ち出す必要がありますと。

会員増強、退会に関しては、若い会員を迎え入れたいと考える一方で、ロータリーの基幹を成す、年輩の会員を遠ざけ、大いに貢献できる退会者を見過ごしたり、するべきではないと国際協議会であいさつとして述べられています。

これと同じような言葉が佐藤千壽さんの文献にも書かれています。

また、加藤陽一次期ガバナーは地区方針として「ロータリーの原点に学ぶ」を掲げ、地区行動指針は、ロータリーおよび、ロータリアンとして基本、自主クラブの運営、会員増強、退会防止を打ち出しており、次期RI会長と同じ想いが察せられます。

ロータリーの長い歴史において疲弊が徐々に出ていくように思われ、次年度ガバナーの「ロータリーの原点に学ぶ」は我々ロータリアンにとってもう一度再認識をする必要ではないでしょうか。

幹事報告

- ・本日の会合: 第7回クラブ協議会
- ・次回の例会: 早朝例会 於良福寺
- ・例会変更のお知らせ: 掲示板をご覧ください。

ニコボックス

○下手な卓話を聞いて頂く事になって。

加藤 勇夫君

○加藤勇夫さんの卓話を楽しみにしています。

桜井 雅博君、箕輪 良孝君

○先週の旭野高校での移動例会、お疲れ様でした。

菊田 利昭君

○高島さん、写真をありがとございました。

古橋エツ子君、古橋 裕志君

○霞陽会は皆様ありがとうございました。お陰様で50名を越す参加者でつとめさせていただきました。

森井 晴生君

私の心に残るロータリー体験を語る月間

	5月29日(金)	6月 5日(金)	6月12日(金)	6月20日(土)
例会予定	卓話担当者: 小柳 和之君 卓話者: 〃 演題: 「雑 話」	卓話担当者: 親睦活動委員会 卓話者: 加藤 清久 親睦活動委員長 演題: 「親睦活動について」	卓話担当者: プログラム委員会 卓話者: 未定 演題: 「 未定 」	19日(金) 振替 夜間例会 於旬彩 そむら 18:00～

○五月五日、森井さんには大変お世話になりました。

加藤 清久君、高島 昇君、山田 直樹君

○これからは、毎日蒸し暑い日が続きます。体調に気をつけましょう。古橋 裕志君

○江尻さんにお世話になり、ありがとうございます。

飯田 幸雄君

○5月に、台風がくるとは？ 江尻 豪君

○関係者の方々にすいませんでした。日曜日、ご迷惑をおかけしました。仲澤 昌容君

第6回クラブ協議会報告

日時 2015年5月15日（金）13:40～

場所 尾張旭市商工会館 第一会議室

議題 1) 今期の報告と各委員会の決算について

各委員会より一年間の活動と決算について、最終報告があった。

2) その他の件

次年度から事業ごとに収支報告を理事会に提出する旨決定された。

卓 話

「私の心に残るロータリー体験を語る月間」



加藤 勇 夫

私のロータリーとの出会いは、今から44年前昭和46年の3月1日に可知先生の推薦で入会しました。飯田先生、奥谷

バストガバナーも同じだったと思います。チャーターナイト（認証状伝達式）もウェスティンナゴヤキャスルで盛大に行われ、全員夫人と共に、歓迎しました。その頃はメンバーも若い人ばかりでした。また、その頃は、新しいクラブが次から次へと出来、勉強がてら参加しました。また、イベントが素晴らしく、小学生の子ども達を連れて家族旅行をしたものです。今でも記憶に有るのは、その地の有名なイベントで、浜松のブルーインパルス、横須賀の自衛艦の乗船、戦艦三笠の見学等有り、当クラブは棒の手披露、消防指導車の寄贈もありました。現在はチャーターナイトも少なくなり一抹の淋しさを感じます。

また、その頃は出席率の事をやかましく言われ、自分の仕事柄、輸出品を扱っていましたので、海外出張も有り行く先々の国のホテルにて、メイクアップをしてバナーを交換し、集めたものです。今でもバナー掛の下地に掛けられた、私のもらってきたバナーを見るたびに懐かしい郷愁を感じます。お蔭様で私が病気で倒れる前まで30年以上皆勤出席し、20周年記念の表彰の時には金一封を頂戴し、その時、丹羽清さんと相談して、金の懐中時計を作りました。ロータリーのお陰で健康に留意し、今日迄長生き出来、現在最長老となった事に感謝しています。

しかしながら、体力的に奉仕する事が、出来なくなり、皆さまにご迷惑ばかりかけていますので、退け時ではないかと思っています。どうもありがとうございます。



△周年記念時皆出席の記念品です。

江南RC創立50周年式典

日時 2015年5月17日（日）16:00～

場所 名鉄犬山ホテル



すこやかな晴天の中、江南RCの創立50周年記念式典が催されました。式典には台湾から潮州RCのメンバー、家族が計25名、姉妹クラブとして参加されました。また、熊本江南RCという似た名前のクラブから11名、友好クラブとして参加されました。参加者は総160名のとっても盛大な式典でした。

式典には1998年の米山奨学生の清水さんも出席され、お祝いの言葉をそえました。彼は奨学金のおかげで、勉学に集中することができ、二年間で8本の論文を書くことが出来、通常3年かかる博士課程を2年で取ったとのことです。卒業後も三井系の研究所に勤務し、日本人の奥さんと日本で暮らしているとのことでした。

この話を聞いて改めてロータリーの凄さ、偉大さ、大切さを感じました。また、祝宴では太鼓も登場し、輪になっての盆踊りもあり、とっても親睦も深めることのできた良い会でした。

当クラブも次年度は45周年です。皆さんの心に残る式になると、よいなあと思いながら帰路に着きました。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

『ロータリーの友』はロータリアンの公開討論の場です。

ロータリアンとしての意見や経験談、職業上の知識などを掲載して、ロータリアン同士が堂々と議論し、交流を図る「広場という空間」を提供します。『友』誌の縦組みのページがそれです。

この広場にはたくさんのロータリアンがやってきて話し合い、旧交を温め、新しい出会いを喜ぶ…そんなロータリアンたちが行き交うことのできる『友』をイメージしています。

～ロータリージャパンより～